

## 令和4年度第1回青少年ホーム運営委員会 会議録（要約）

- 1 日時  
令和4年7月22日（金）19時から20時20分
- 2 場所  
松本市なんなんひろば 会議室
- 3 出席者  
奥山祈委員、千葉葵委員（以上 オンライン出席）、小林宏安委員、二茅真由美委員、勝亦達夫委員
- 4 欠席者  
天白英子委員、小澤美智子委員
- 5 事務局  
石川生涯学習課長、永井青少年ホーム所長、小船井青少年ホーム主事
- 6 議事
  - (1) 令和3年度事業報告
  - (2) 令和4年度事業計画・予算について
  - (3) 意見交換
    - ア 令和3年度各委員所属団体活動の良かった点、苦勞した点について
    - イ 令和4年度各委員所属団体活動の現況と今後の予定について
- 7 意見
  - (1) 令和3年度事業報告について
    - （千葉委員） 青少年ホームのヤングスクールは多種類の講座があり、驚きました。
    - （奥山副委員長） 事業を計画しても、新型コロナウイルスがまん延すると、中止にしたため、役員のモチベーションが上がりませんでした。2年間この状態が続いているため、イベントを体験していない会員が増えてきました。その中で昨年度はホーム祭を開催できたことは大きく、アクリル板も購入・設置し、新型コロナウイルスまん延防止対策もできました。
  - (2) 令和4年度事業計画・予算について
    - （小船井主事） 今年度新規事業を企画し、SNS等で掲載してみましたが、なかなか反応がなく、困っています。何かいい方法や工夫があったら、教えてください。
    - （千葉委員） 若い人たちは、SNSやスマートフォンで情報を見ます。情報を共有し、友達にも伝えていければと思います。信州大学学生は、「握手」という大学情報サイトがあり、イベント情報もありよく見るので、活用できると思います。
    - （奥山副委員長） 自分で興味があれば、インターネットで検索しますが、友人からの

口コミが多いのではないのでしょうか。

(二茅委員) 自分たちが伝えたい情報を伝えたい人たちに届けるための工夫として、例えば引きこもりの若い人たちに直接伝えることは難しいですが、支援者を通して保護者に情報提供を伝えることはできます。また、引きこもりの若い人たちは、自分の推し等を誰かに話したい、聞いてほしいという願望があります。

(勝亦委員長) 直接本人のみではなく、情報を発信してくれる人たちを増やすことが、いちばんの対策になると思います。

### (3) 意見交換

ア 令和3年度各委員所属団体活動の良かった点、苦労した点について

(千葉委員) 昨年4月に信州大学地域参画プロジェクトCHANGEに入会して以来、新型コロナウイルスの影響で、思うような活動が現在もできていないのが現状です。

(小林委員) 周りが新型コロナウイルスの影響により、ハローワークに行こうという気にならない方が多いと思います。そこで、昨年度はZoomを利用して仕事の相談や紹介を行いました。長時間利用したため、費用が掛かってしまいましたが、効果がありました。現在は、テレオフィスやエクセル表等も掲載できるようになっているので、Zoomの有効利用ができないものかと思っています。

イ 令和4年度各委員所属団体活動の現況と今後の予定について

(奥山副委員長) 新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、何とかやって生きたいと思いますが、「新型コロナウイルスに感染したら嫌だ。」と考えたり「参加したい」と思っていただけなのが不安です。

(千葉委員) 新型コロナウイルス感染も現在第7波になっていて、特に国からの制限がない中で、いつ沈静化するかが分からないため、今後の予定が立てずらいです。個人的には事業に参加したいのですが、少しためらいもあり、考えてしまいます。

(小林委員) 若者がどうしたらハローワークに来てもらえるか、周知できるかが課題となっています。ネットを使った「マイページ」は、ハローワークが仲介せずに求職者と求人者とが直接交渉ができます。

(奥山副委員長) 私個人は、現場で人と触れ合いたいのですが、Zoomの活用も考えなければと思います。

(勝亦委員長) リモート活用の一案として、市がツールの使い方を周知したり、貸し出しを行っていただければ、効果があると思います。

(二茅委員) 私たちの業務は、年度末にどうしても業績・結果が付いてきます。私たちの活動が、引きこもりの人たちが社会に出ていけるために誰かと繋がりたいのですが、なかなかきっかけが掴めないのが現状です。やはり、コーディネートしてくれる方がいれば、大変有難いです。

(勝亦委員長) コーディネート役の重要性、また新型コロナウイルスの影響により事業を中止するというより、「どうやったら開催できるか」ということを検討・工夫し、考えていくことが重要だと思います。